

最近では、地球温暖化に伴い風水害の規模も大きくなっており、透析医療に支障をきたすことが毎年のように発生している。梅雨の時期には、線状降水帯による豪雨・河川の氾濫が各地に被害をもたらしている。台風も大型化しており、強風による停電、豪雨による被害が大規模化している。また、日本は世界有数の地震および火山列島であり、今までも阪神・淡路大震災や東日本大震災をはじめ、地震が多発し、その被害も各地に及んでいる。本特集では、今までの災害のなかから地震、大型台風、豪雨、停電、豪雪の被害の状況およびその後の対策について述べていただいた。また、日本は多数の原子力発電を有しており、東日本大震災の原子力発電事故から放射線災害が注目されるようになった。放射線災害の基礎知識、長期にわた

る避難生活の抱える問題点に関して述べていただいた。さらに今後、近いうちに発生すると予想される、都市型災害の特徴、南海トラフ地震が抱える課題に関して述べていただいた。

災害の状況をいち早く共有し、支援を行うことができるように、日本透析医会災害情報ネットワークが設立された。また、災害時の支援部隊「JHAT」も発足しており、急性期の医療に対応できる広域災害医療派遣チーム「DMAT」も創設されている。

いろいろな観点から、日本が抱える種々の災害に対する対策について新たな方向性を示していただいた。本号が今後も繰り返し起こると予測される災害対策の一助になれば幸いである。

(原田 孝司)

## 2021年(Vol. 37)特集のご案内

- No.① 腎性貧血治療のこれまでと、その新しい展開
- No.② 感染症と医療安全
- No.③ 透析看護分野の看護師の認定・研修制度と社会から求められるもの
- No.④ 透析の開始・継続・見合わせ
- No.⑤ ダイアライザ・ダイアフィルタの今後を考える

- No.⑥ 看過してはならない不整脈
- No.⑦ CKD 診療におけるビタミンと微量元素
- No.⑧ 透析医療における災害対策
- No. 9 透析患者の消化管疾患 A to Z [増刊号]
- No.10 CKD・透析患者の最近の知見による体液管理

(既刊は○)

## 臨牀透析® Vol.37 No.8

© 2021 年 8 月 10 日発行  
定価：2,860 円  
(本体 2,600 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2021, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541